

夏の参議院選挙特集号

全厚労ニュース

全 国 労働組合連合会
厚生連

〒110- 東京都台東区入谷
0013 1-9-5
TEL 03-3874-3591
FAX 03-3874-3593
発行日 毎月20日
https://www.zenkouro.org/

ワシらの将来を決める選挙じゃけえ、連れのうて行こうや!

皆さん、こんにちは。全厚労執行委員長で広島県の岩本です。

昨年10月27日に行われた衆議院選挙では、自民・公明の与党が大敗し、過半数を下回りました。このことにより、以前と比べて医療・介護業界の賃上げや人員確保に関心を示す国会議員が増え、私たちの運動へも理解が増えています。

しかしながら、全国の医療機関ではコスト増などで赤字経営を余儀なくされ、賃上げはもとより地域医療・介護の維持でさえ困難な状況となっているにも関わらず、国会では維新の会を中心に医療費削減に向けての議論がなされています。さらには、令和の米騒動をきっかけに政府によるJAへの攻撃も始まっています。私たちの労働条件（賃金を含む）向上や地域医療を守るためには、地域の医療を真剣に考える国会議員を増やすしかありません。

ワシらの将来を決める選挙じゃけえ、連れのうて行こうや!



岩本一宏委員長

私たちにももももまともな賃上げを このままでは医療・介護崩壊です

組合員・読者の皆さんへ

今年度、6月号はデジタル版の予定でしたが5月の拡大中執で予定を変更し、来たるべき7月の参議院選挙で、医療・介護労働者の賃上げと地域医療を守る政治への転換を目指して、全ての組合員に選挙に行つて欲しいとの思いを込めて、「選挙特集号」発行を決めました。全面的な「選挙特集号」は1983年ぶりとなります。貴重な票の権利を大切にしていきたいです。

国政を大きく動かしてきた 全厚労・国会議員要請行動

全厚労は、コロナ禍の間も医療現場の実態を伝える議員要請や国政政党への申し入れを中執や希望者を募って活発に取り組んできました。23年度には現場からの「一言署名」7300筆が議員を通じて厚

労大臣、財務大臣へと渡り、「ベラスアップ評価料」創設の流れ



今期勇退される紙智子議員（農水委員）とともに(3月5日)

参議院議員賛同者名簿

氏名	会派	選挙区
寺田 静	無所属	秋田
打越さく良	立憲	新潟
櫻井 充	自民	宮城
羽田 次郎	立憲	長野
山添 拓	共産	東京
倉林 明子	共産	京都
宮口 治子	立憲	広島
石田 昌宏	自民	比例
川田 龍平	立憲	比例
紙 智子	共産	比例
岩淵 友	共産	比例
井上 哲士	共産	比例
山下 芳生	共産	比例
大門実紀史	共産	比例
天島 大輔	れ新	比例
船後 靖彦	れ新	比例

衆議院議員24年度賛同者一覧

議員名	会派	選挙区
池田 真紀	立憲	北海道5
東 国幹	自民	北海道6
逢坂 誠二	立憲	北海道8
神谷 裕	立憲	北海道10
石川 香織	立憲	北海道11
黒岩 宇洋	立憲	新潟3
米山 隆一	立憲	新潟4
神津たけし	立憲	長野3
青山 大人	立憲	茨城6
早稲田ゆき	立憲	神奈川4
笠 浩史	立憲	神奈川9
阿部 知子	立憲	神奈川12
福田かおる	自民	東京18
中島 克仁	立憲	山梨1
田中 健	国民	静岡4
岡本 充功	立憲	愛知9
井坂 信彦	立憲	兵庫1
柚木 道義	立憲	岡山4
白石 洋一	立憲	愛媛2
長谷川淳二	自民	愛媛3
西川 将人	立憲	(比)北海道
長谷川嘉一	立憲	(比)北関東
星野 剛士	自民	(比)南関東
宮川 伸	立憲	(比)南関東
沼崎 満子	公明	(比)南関東
志位 和夫	共産	(比)南関東
福田 淳太	立憲	(比)北陸信越
本村 伸子	共産	(比)東海
八幡 愛	れ新	(比)近畿
吉川 元	立憲	(比)九州
田村 貴昭	共産	(比)九州

参院選は 変える チャンス

れもつくりました。24年度も、大会前の9月4日から、国会厚労委員を訪問し、10月23日には総選挙真つ只中、中央執行委員中心に14県28名で、参議院議員との懇談を行いました。

25年3月5日、日本医労連25春闘中央行動に結集しつつ、独自で約50の議員事務所を訪問。13名の国会議員と直接話し、秘書対応でも現場実態や処遇改善の課題について深く話をすることができました。今年度の参議院選挙は、防衛費を増額する一方で、医療・福祉を始めとする社会保障削減が狙われている今の政治を変えたい大きなチャンスです。ぜひ投票所に足を運び、私たちの願いを実現する候補者を選びましょう。

参議院立候補予定者への公開質問

5月30日時点での参議院改選議員、報道等による道県選挙区立候補予定者で連絡先が判明した方に「公開質問状」をFAX送付、かつ政党本部を通じて連絡していただき、締め切りまでに届いた回答を掲載しています。質問①は「ケア労働者の賃上げについて」、②「地域医療構想の見直し、医療インフラの拡充」、③「食料自給率の向上」、④「消費税減税の是非」に関して、賛成=○、反対=×、どちらでもない=△、回答せず=-、で表記しています。政策欄に★印がある方は個人の政策があります。詳しい公開質問状はQRコードを参照下さい。



2025年第27回参議院議員選挙・立候補予定者

選挙区	名前	現新	政党	賃上げ実施	医療再編	食料自給率	消費税減税	政策	
北海道	岩本 剛人	現	自民	-	-	-	-		
	高橋はるみ	現	自民	-	-	-	-		
	勝部けんじ	現	立民	-	-	-	-		
	宮内 史織	新	共産	○	○	○	○	★	
秋田	のむら	新	れいわ	○	○	○	○		
	バターン和孝	新	れいわ	○	○	○	○		
秋田	寺田 静	現	無所属	○	○	○	○	★	
	なかいずみ松司	元	自民	△	△	○	△	★	
福島	森 まさこ	現	自民	○	○	○	△	★	
	石原洋三郎	元	立民	-	-	-	-		
新潟	打越さくら	現	立民	○	○	○	○	★	
	中村 真衣	新	自民	-	-	-	-		
富山	堂故 茂	現	自民	-	-	-	-		
	庭田ゆきえ	新	国民	○	○	○	○	★	
	坂本ひろし	新	共産	○	○	○	○	★	
長野	羽田 次郎	現	立民	○	○	○	○	★	
	藤田ひかる	新	自民	-	-	-	-		
茨城	上月 良祐	現	自民	○	△	○	△	★	
	小沼 巧	現	立民	○	○	○	○		
埼玉	古川 俊治	現	自民	-	-	-	-		
	熊谷 裕人	現	立民	-	-	-	-		
	矢倉 克夫	現	公明	○	△	○	○		
	伊藤 岳	現	共産	○	○	○	○	★	
	江原くみ子	新	国民	-	-	-	-		
神奈川	桜井ななえ	新	れいわ	○	○	○	○		
	佐々さやか	現	公明	-	-	-	-		
神奈川	牧山ひろえ	現	立民	○	○	○	○		
	かごしま彰宏	新	国民	○	△	○	○	★	
	あさか由香	新	共産	○	○	○	○	★	
	三好りょう	新	れいわ	○	○	○	○		
静岡	脇 雅昭	新	自民	-	-	-	-		
	牧野たかお	現	自民	○	△	○	×	★	
	しんば賢津也	現	国民	-	-	-	-		
愛知	鈴木 ちか	新	共産	○	○	○	○	★	
	酒井やすひき	現	自民	○	△	○	×		
	安江のぶお	現	公明	-	-	-	-		
	田島まいこ	現	立民	-	-	-	-		
岐阜	水野こういち	新	国民	○	○	○	○	★	
	すやま初美	新	共産	○	○	○	○	★	
	辻 恵	新	れいわ	○	○	○	○		
三重	若井 敦子	新	自民	-	-	-	-		
	服部 学	新	立民	○	○	○	○		
	三尾 圭司	新	共産	○	○	○	○	★	
広島	吉川ゆうみ	現	自民	-	-	-	-		
	小島とも子	新	立民	○	○	○	○		
	森本しんじ	現	立民	-	-	-	-		
山口	西田 英範	新	自民	-	-	-	-		
	高見あつみ	新	共産	○	○	○	○	★	
	北村つねお	現	自民	○	○	○	△		
香川	三宅 伸吾	現	自民	○	○	○	△		
	原田ひでか	新	国民	-	-	-	-		
	長尾 真希	新	共産	○	○	○	○	★	
徳島	広田 一	現	無所属	○	○	○	○		
	大石 宗	新	自民	-	-	-	-		
全国比例	白坂 亜紀	現	自民	回答を差し控えます					
	吉田 忠智	元	立民	○	○	○	○	★	
	石田 昌宏	現	自民	○	○	○	○	★	
	本田あきこ	現	自民	○	△	○	×		
	川田 龍平	現	立民	○	○	○	○		
	石川 大我	現	立民	○	○	○	○		
	小沢 雅仁	現	立民	○	○	○	○		
	塩田 博昭	現	公明	○	△	○	△	★	
	新妻 秀規	現	公明	○	△	○	△		
	はたやま和也	新	共産	○	○	○	○	★	
	小池 晃	現	共産	○	○	○	○	★	
	井上 哲士	現	共産	○	○	○	○	★	
	山下 芳生	現	共産	○	○	○	○	★	
	矢野ゆき子	新	共産	○	○	○	○	★	
平 あや子	新	共産	○	○	○	○	★		
鈴木 弘一	新	共産	○	○	○	○	★		
西山のぶひで	新	共産	○	○	○	○	★		
大橋ゆうこ	現	社民	○	○	○	○	★		
浜田 聡	現	N党	×	×	△	○			

立候補(予定)者からの医療政策(全厚労・選挙区順)

回答が長い場合には冒頭部分を掲載し、残りの文言はHPに全文掲載しています(最後に※印が付いている方)。なお名前の表記については、寄せられた回答に則っています。



医療政策・訴えの全文はこちら

北海道

宮内 史織(共産) 国民のいのちと生活を守ることは憲法25条に基づく国政の最重要課題です。この間の自公政権による医療・介護の削減はただちに止めさせ、国の責任で社会保障の拡充を求めます。

秋田

寺田 静(無所属) 人口減少が進む秋田県ではありますが、医療従事者の待遇改善をし、国民が安心して年を重ねることができるよう努力してまいります。

なかいずみ 松司(自民) いずれも重要な課題であるが、限られた財源の中で何を優先するか、どうやって財源を確保

福島

森 まさこ(自民) 減税する時は、社会保障の財源を確実に確保してからですべきである。

新潟

打越 さくら(立民) 医療や社会保障分野は、規制緩和、競争、自己責任など自民党政権が進めてきた政策から最も遠い分野であり、公的責任において必要十分な水準を確保することは当然です。

富山

庭田 ゆきえ(国民) 現役世代、次世代の医療負担の軽減。また、持続可能な医療体制の整備は急務であると考えております。年齢ではなく能力に応じた負担として制度の

埼玉

伊藤 岳(共産) 医師・看護師・介護職員等の大幅増員と賃金引き上げ、労働環境の改善は待ったなしです。緊急に国費を5000億円投入して、診療報酬の基本の部分を引き上げます。(※)

神奈川

かごしま 彰宏(国民) 現役世代へ過度な負担がのしかかっている社会保障制度について、応能負担を検討すること、少子高齢化でも持続性のある制度に転換していく必要があると思っています。

茨城

上月 良祐(自民) 公定価格の診療報酬、介護報酬は低すぎる。医療や福祉を支えているのは人であり、その生活を守れなければ医療や福祉の現場も守れない。公定価格の引き上げが絶対に必要。

鈴木 ちか(共産) いのちとくらし・人権を守る政治をめ

愛知

水野 こういち(国民) 地域医療の持続可能性を重視し、人口減少と高齢化が進む中でも住民が安心して医療を受けられる体制の整備を提案し医療提供の安定化を目指していきます。(※)

岐阜

すやま 初美(共産) 医療・社会保障は、人間らしい生活を営むために不可欠なものであり、国民に権利として保障されるべきものです。(※)

三重

三尾 圭司(共産) 医療・社会保障に対する政策や考え方等について、すべての国民が人間らしい暮らしを送るためのものであります。(※)

高見 あつみ(共産) 憲法は25条で、国は社会福祉、社会保障の増進に努めなければならぬと定めています。現実には軍事費が突出し、社会保障の予算は物価上昇率にも及んでいません。大軍拡、大企業優先の政治を改めて医療・社会保障の充実、くらし

香川

長尾 真希(共産) 「みんながご飯をきちんと食べられて、戦争や貧困・差別なく平和に暮らせる政治」の実現を私は求めます。医療・社会保障はその根幹をなすものです。大切にしていきたいと思えます。

徳島

小池 晃(共産) 「11万病床削減」など「医療費4兆円削減」は断固阻止し、地域医療を支える医療機関への公的支援の拡充と、診療・介護報酬の増額・改善を進めるべきです。(※)

大分

吉田 忠智(立民) 誰もが安心して医療を受けられる国民皆保険制度を堅持し、セーフティネット機能の充実のため保険料の軽減について議論されることを求められます。また、その実現のためには、社会保障と税の一体改革に向けて、国会本来の姿である熟議が必要だと考えています。

石田 昌宏(自民) 医療・社会保障政策にさらに尽力して参ります。塩田 博昭(公明) 生きていく上で不可欠な公的サービスは誰もが平等に、必要な時にアクセスできる権利の保障をめぐすべくベシックスサービス

徳島

平 あや子(共産) 医療・社会保障の充実、すべての国民が人間らしい暮らしを送るために不可欠の課題です。憲法はその向上及び増進は国の責務であると定めています。新潟県内でも日本共産党は、「地域医療を守る新潟県実行委員会」のみなさんと協力して、医療・社会保障の充実のために力を尽くしています。(※)

大分

井上 哲士(共産) 5年間で43兆円もの大軍拡中止、不公平制の見直し、大企業内部留保課税の実施で、医療・社会保障予算の充実が必要です。西山 のぶひで(共産) 地域を支える医療・介護施設が物価高のもとで経営難に陥っており、人手不足も相まって危機状況にあるとお聞きします。医療・社会保障の向上・増進は政治の責任で進めなければなりません。(※)

大分

大橋 ゆうこ(社民) がんに

大橋 ゆうこ(社民) がんに

国政政党からの回答

「公開質問状」への政党からの回答は、残念ながら与党からは得られず、野党のみとなりました。日本維新の会からも今回は「回答を遠慮したい」との対応で、残る野党も4つの質問には全て「賛成」となっています。

以下、「質問1」のみについて、個別の具体的な回答を掲載します。残る質問への回答は、以下のQRコードから参照し、投票の判断材料にしてください。



質問1 ケア労働者「賃上げ」のための具体的な政策について

【立憲民主党】

●全ての介護職員等（ケアマネージャー、事務職員や調理員などを含む）の賃金を全産業平均の水準に引き上げることを目指して、着実に処遇改善を行います。処遇改善は、介護保険料の引き上げにつながらないよう、原則国費とすべく検討を進めます。

【国民民主党】

●公定価格が給料決定に影響を及ぼす介護職員、看護師、保育士等の方々については10年で地域の実情を勘案しつつ給料を2倍にするとともに、地域手当の見直しを行います。処遇改善加算等は対象者に直接給付します。現在対象とされていない介護従事者については対象を拡大します。

【日本共産党】

●国が決める公的価格である診療報酬・介護報酬が、物価高も賃金上昇もともに反映せず低く抑えられているため、医療では、病院の経営が急激に悪化し、医療従事者へのボーナスカットや賃下げが起っています。介護でも、低賃金や劣悪な労働条件を受けた深刻な人材不足が、制度の基盤を揺る重大問題となっています。

●2024年診療報酬改定で新設されたベースアップ評価や基本料引上げの効果を早期に検証し、看護師、薬剤師、臨床検査技師、医療事務等の医療従事者に対するさらなる賃上げが可能となるよう、ベースアップ評価の見直しを行います。

日本共産党は、緊急に国費5000億円を投入し、患者負担増にならないようしながら、診療報酬を引き上げ、医療従事者の賃上げ加算を設けること、利用者負担の増加につきな

報酬に賃上げ加算を設けること、利用者負担の増加につきな

報酬に賃上げ加算を設けること、利用者負担の増加につきな

読者の声

これから夏ですね！夏レクにバベキユー、組合の大会など楽しみいっぱいです。 (広島)

夏はワクワクします。労働組合で知り合った方と山登りしたなあ。夏を満喫するために団結してがんばろう。 (HT)

お米が去年の2倍の値段で家計が苦しいです。ガソリン、食品、旅行、全て値上がりしているけど、ベースアップは変わらず。主食を減らすか、パンに代えて欲しいです。 (秋田)

物価高は全ての人に影響が出ています。しかし診療報酬はそれをカバーできていない。だからベア出来ない。国の政策が悪いと思います。選挙特集号を読んで選挙に行きますよ！ (KU)

新歓特集号でも記載されていた、

「黙示の指でサービスクラスをやるのが当たり前になっていて悲しいです。上司に申請しても看護部長の判断でほとんど残業申請が通りません。 (長野)

自分が不条理に感じているなら周りもきっとそう思っています。看護師さん同士で団結して部長と談判するか、組合で支部交渉が必要ではないでしょうか。行動しなければ現状は変わりません。健康を祈ります。 (AK)

新入組合員学習会が開催されました。入職して2ヶ月！職場の雰囲気には慣れた頃でしょうか。学習会で学んでいきたい、次世代の組合を引っ張って欲しいです。参加してみたら組合は、けっこう楽しく勉強になる集まりですよ。 (北海道)

ぜひぜひ。なにか困った事があつた時も、働く仲間との労働組合は相談しやすいと思います。 (EN)

聞かせて・教えて!のコーナー

☆4月号で募集した「聞かせて・教えて」の結果発表☆

質問1 4月号で一番興味があった面は?

最も票が集まったのは、1面の春闘「医師・看護師・介護職員の大幅増員」署名行動など各地で取り組まれた内容についての記事13票でした。次いで、国会議員・厚労省幹部と意見交換を行った様子を掲載した2面12票、定番面3面が3票、4面1票でした。

質問2 新入職員へ伝えたい、職場の魅力は?

「雰囲気・アットホームさ」が最多12票、次いで「休みの取りやすさ」9票、「勤務時間の短さ」6票でした。雰囲気を良くするカギは増員!?賃金アップと併せて、職場環境も良くしていきたいですね。

さて、今回の「聞かせて・教えて!」は

質問1 6月号で一番興味があった面は?

A=1面 B=2面 C=3面 D=4面

質問2 今月は「選挙特集号」でした。さて投票は?

A=必ず行くよ! B=なるべく行く

C=たぶん行かない D=その他



読者の声、聞かせて・教えて、クロスワードはすべてQRコードよりスマホから投稿できます。氏名・住所・希望景品(図書カード又はクオカード)は必須事項です。

教宣部の つぶやき

令和6年度の公的三団体の病院収益は全体で約800億円の赤字と聞いた。地域医療構想を進めていかなくてもこのままでは廃院になる病院は増えていく。人口減少の多い地域にある病院ほど経営ができなくなり医療崩壊が起ころう。そうなれば田舎から病院や人が消え、米を生産する人達もいなくなってしまう。 (OG)

「言いたい劇場」小昔りや子



国政政党からの回答一覧

Table with 5 columns: 政党名, 賃上げ実施, 医療再編見直し, 食料自給率向上, 消費税減税. Rows include 自由民主党, 立憲民主党, 公明党, 日本維新の会, 国民民主党, 日本共産党, れいわ新選組, 社会民主党, 参政党, 日本保守党.

※賛成=○、反対=×、どちらでもない=△

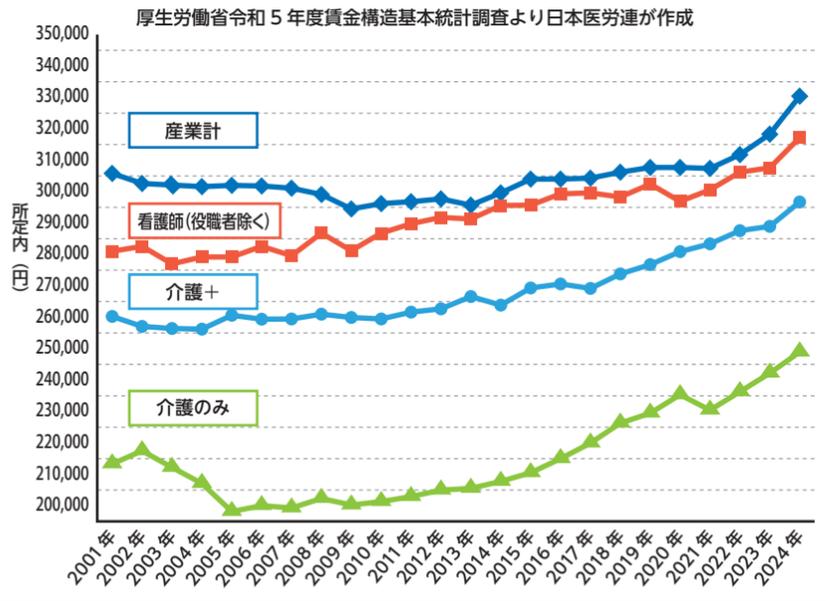
ザ・クロスワード 出題▶モロズミ勝

Crossword puzzle grid with clues and a 6x6 answer key table at the bottom.

【問題】二重ワクの文字を、A~Fの順に並べてできる言葉は、なに?
■タテのカギ
1 サウナ室の中の人
2 ...は二物を与えず
3 青森市では「ねぶた」祭り、弘前市では?
4 那智・華厳・袋田
5 資産が多い人
6 晴れのち...のち雨雲と泥...の差
7 ...野球...競馬
8 ...星と牽牛星
9 魚や貝などを煮つめた保存食品
10 7月第3月曜...の日
11 愛くるしい、かわいい守宮つて読めますか?
12 野球の練習...ノック
13 短い劇...劇
14 草やイネを刈る農具

■ヨコのカギ
1 ギリシャ共和国の首都
4 願い事を書いて七夕の笹につるします
7 昔の電車の暑さ対策はこれだった
9 ...を洗うような混雑
10 牛などの舌の肉
11 分銅付きの武器...鎌
12 combの意味は?
14 下絵、素描のことです
16 子どもを養育するための...費
18 海のミルク
20 ネギやトウガラシなど
21 ニボシやコンブの汁
23 いろは四十八...
24 スポーツシューズ
26 パスポートのことです
27 ケチャップの定番

産業計と看護師・介護職・保育士・教員の賃格推移 [2025年]



全国の多くの医療機関が、物価高騰によるコスト増に苦しめられていま

物価・賃金引上に対応する診療報酬制度・財政支援を

す。ベースアップ評価料が新設されたものの、思うように引き上げられない賃金(年間一時金での調整がなされる等)実態

があります。今のままで、経営が立ち行かなくなれ

私たちの大切な参政権
きざちんと行使しよう!

今年7月の参议院選挙は、これからの日本の行く末を左右する極めて重要な選挙です。24年秋の解散・総選挙では与党が過半数割れとなり、野党の声も一定取り入れざるを得なくなってきました。しかし野党も政策の違いが目立ってきたり、SNSなどの情報拡散によって新興勢力が勃興するなど、これまでにない政党や団体も出てきています。現在、国民の約半数しか投票していない国政選挙、争点をしっかりと見極めて、投票しましょう。

今回選挙の争点は何?

ば、必要とする地域住民に医療・介護を提供できなくなってしまうだけでなく、医療・介護従事者の生活も壊れてしまう。多くの医療関係団体、関係者の危機感が広がっています。

いまでも医療や介護で働く労働者の賃金は、全産業平均より低い実態にあります(グラフ参照)。今度の選挙で、物価・人件費の高騰にしっかりと対応していく診療報酬制度への改善や社会保障に対する財政支援を実現していきたいでしょう。

農水予算3割削減で、食料自給率も3割減少に

世間では「コメ不足」によるコメ価格の暴騰に国民が悲鳴を上げ、政府は「備蓄米」の放出を決定しました。しかし、「入札備蓄米」での放出では思うように値段が下がらず、農相を差し替えて、



結果としては値段の下がってきた備蓄米を市場に放出したこと、石破政権の支持率も若干、上向いているようですが、そもそも今回の米不足をもたらした根本原因には、農業切り捨ての政策があります。食料自給率は1990年代に入ってから大幅に下落し、現在38%にまで落ち込んでいます。農水省予算も1990年代から漸減し、25年度予算で2・3兆円弱にまで下がる一方で、防衛費(軍事費)は、約8・5兆円と1980年代には農水省予算が防衛費より高かったものがこの30年間で防衛費が農水省予算の3・7倍となるなど、大

きく逆転しています。国の安全保障は、防衛だけではありません。輸入がストップし、食糧の不足がなくなれば、すぐに国民は飢えてしまいます。医療・社会保障予算もそうですが、手厚くするべき部分を間違っているのではないのでしょうか。

1兆円医療費を削減?

自民・公明と日本維新の会は、6月6日の社会保障改革に関する実務者会議で、全国の医療機関の余剰病床11万床を27年度までに削減し、医療費1兆円を抑えることに合意しました。併せて維新の会は、国民医療費を年間4兆円削減して、現役世代の社会保険料負担を6万円下げよう求

めており、3党合意文書にも反映されています。余剰病床とされる11万床削減で、想定通りの医療費が削減されるのかどうか、疑問にする識者も多くありません。そもそも新型コロナウイルスのパンデミックで、余裕のある病床とそれに対応できるだけの人員体制こそが必要との教訓が明らかになったはず。一定のバッファを持った病床・機能や人員体制を確保するために何が必要か、こそ医療提供体制の根幹に据えていくべきではないのでしょうか。

全国から、あなたへ 私たちも投票します!



小松宝広さん (秋厚労)

いま医療・介護現場では、労働者の使命感と働きがいに頼って、かるうじて支えられているのが現実です。医療・介護・福祉分野への真剣な支援をしてくれる候補者・政党を選びます。

現場への過度な負担を見て見ぬふりせず、持続可能な制度へと転換すること。現場の声を政策に生かす政治の力が、今こそ必要だと強く感じています。

私たちが直面している問題は、もはや現場や経営の工夫だけでは解決できません。政治の力が不可欠です。私たち一人ひとりの声が必要です。全厚労の仲間として、いち医療人として、まずは一票から、あなたの声を届けましょう。



梅岡里美さん (広厚労署名担当大臣)

私の願いは、「診療報酬を上げること」、私たちが安心して働ける医療体制をつくって欲しいと願っています。この間、防衛費は2倍、社会保障のためと称して保険料や消費税が上がってきました。いまの状況が続くと、医療現場から人が離れていき、10~20年後の将来が見通せません。

皆さん、だれが政治家になっても同じ、変わらないという観念は捨て、選挙に行きましょう。政治が変わらないと医療現場は変わりません。政治が悪いと思うあなた、まず一票を投票して下さい。選挙に行かないと何も変わりません。

選挙区と全国比例で2回投票です!!

参院選の投票は2種類

候補者名と、政党名(又は候補者名)を記載します。

参院選では有権者1人につき2回投票します。

1つ目は選挙区選挙で「選挙区の候補者名」を書いて投票。2つ目は比例代表選挙では「政党名」もしくは「比例代表の候補者名」を書いての投票です。候補者名や政党名以外の言葉(頑張れ等の応援)を書くとも無効になりますのでご注意ください。

